

令和7年第1回定例会 第189号

# 日本有数の玉露の産地



※採決結果は最終ページに  
掲載しています。

また、13件の予算案を審査する予算特別委員会（田原延行委員長、向川弘副委員長）が設置され、4日間にわたる審査の結果、付託された13件は全て可決すべきものとして答申されました。

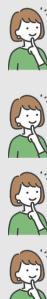
3月28日の閉会日には、議員発議案1件、意見書案1件が上程されました。

令和7年第1回定例会には、市長報告3件、同意案2件、令和7年度一般会計予算案を含む議案33件が上程されました。開会日には市長から7年度の施政方針演説があり、2日目には施政方針演説に基づき、各会派から代表質問を行いました。

常任委員会に審査を付託された議案は、総務常任委員会には「京田辺市ふるさと応援基金条例の制定について」など13件について、文教福祉常任委員会には「京田辺市子ども・子育て会議設置条例の一部改正について」など4件と、「京田辺市民が通える公立間中学校の創設並びに条件整備を求める請願」などの請願

2件、建設経済常任委員会には「枚方京田辺環境施設組合の共同処理する事務及び同組合規約の変更について」など3件、それぞれの委員会で審査が行われました。

02-03	代表質問
04-05	常任委員会
06-08	一般質問
09-11	予算特別委員会



市長の考え方に対する議論の結果は？



専門的に話し合われた内容は？



議員って普段どんなこと考えてるの？



予算の質疑内容は？



# 上村市長の施政方針演説



私の市長2期目のまちづくりも早くも折り返しを迎えます。私の政策理念「みんなが住み続けたいと思うまち」を実現させるため、第4次総合計画「中期まちづくりプラン」の3つの重点プロジェクトである、「次の世代を育てる子どもまんなかのまちづくり」「つながりと安心のまちづくり」「持続可能で魅力あるまちづくり」を中心に、施策事業の展開を加速させるほか、「情報発信と効率的な財政運営」についても着実に推進します。

また、次期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」により、「子ども・都市づくり」を中心、施策事業の展開を加速させるほか、「情報発信と効率的な財政運営」についても

による行政事務の効率化を一體的に進めます。

⑤ 国・府と連携した財源確保や企業誘致による歳入確保、民間活力の導入や公共施設マネジメントの推進による歳出の削減などを進めます。

また、施策推進の原動力となる「人」が重要であるため、市役所では働き方改革を進め、まちを理解し、豊富な知識と情報を持つとともに、情熱と柔軟な行動力でどのように課題にも対応できる職員を育成します。

に向けて、一体的に切れ目のない子育て環境の整備や教育環境の向上など、次代を担う者への支援を推進します。

# 市長の施政方針演説に対する 代表質問

代表質問とは、市長の施政方針演説に 対して行う質問で、市長の施策等に対 する活発な質問が展開されました。

# 自民一新会 橋本善之議員

## まちづくりと危機管理について

私たち「第4次総合計画中期まちづくりプラン」の2年目として、未来に向け更なる飛躍の重要な年と表明されている。これまでの実績と計画期間の13年度までを見通した取り組みについて問う。

**市長** 平成31年4月に就任後、翌年には第4次京田辺市総合計画に基づく新たなまちづくりをスタートさせた。この間、コロナ禍を経験し人と人との絆の重要性を再認識する中で、市民協働のもとで、たなフェス開催を始めミライ口開設など、まちへの愛着や誇りといったアイデンティティを育めるよう取り組んできた。市の人口は令和12年にはピークを迎える、その後減少局面に入る中、人材や税収など

**問** 災害に強い強靭な京田辺創造に向け治水対策を始め難所運営、自主防災組織機能強化、自助・共助策の確立など積極的な取り組みを評価する一方で、市民は災害経験が少なく災害に対し危機意識が低いと思う。その対策は

**答** 自主防災組織の設置進めや活動支援、防災士養成組み。被災経験者による「エリベ」の講演会を通じ、そ

地で活動する方をふやすことでも経験談から災害を知ることで、自助・共助の意識の向上に繋がる活動を考えている。

**公明党 向川弘議員**

物価上昇に対し市民への支援を

問 米や食料品等の物価が上昇している。市民への生活

接種開始時期と対象者を問う

答 令和7年4月から英麻疹



**市長** 物価高騰による給食費の保護者負担軽減と商工業者や農業者への経済対策を講じる。国の取り組みを見定め  
令和7年度から5年間の経措置として70歳、75歳、80歳85歳、90歳、95歳、100歳となる方も対象。広報誌4

を機動的に行いたい。  
**問** 中小企業、農家等への  
施策を聞いたが、それだけで  
は行き届かない市民にも届く  
方法を伺いたい。

を送付する。  
**問** 松井ケ丘留守家庭児  
童会の時間延長や長期休暇中  
宅配弁当の内容を問う。

イント還元事業は前回5回実施。これまでの取り組みや状況も踏まえながら考えたい。

公共施設のウォーターラインで申し込む。

7時までの30分ずつ延長。当は令和7年度の夏休みか長期休業期間に実施。保護

**問** 帯状疱疹ワクチン予防共施設に設置する。  
**答** 現時点では、七つの公

**調設備工事スケジュールは**  
**冬の約3カ月を想定している**  
**答** 室内機の設置は秋か

インターネットで「京田辺市議会中継」と検索してみてください。また、スマートフォンで見たい場合は、次のようにお問い合わせください。

人と人との繋がる市政運営を

問　コロナ禍での市政運営について今後この教訓を生かせる体勢が整っているのか、またまちづくりへの市民ニーズが多様化する一方、社会的に孤独・孤立の問題が深刻化している中、どのようにして市民の声の把握、市と市民との双方向の情報交流ができる仕組みを考えているのか。

市長　感染症対策の情報を国が先に発信し、自治体が困惑するということがあった。その中の2020年3月の一斉休校等があつたが、児童生徒の学びの確保を進めるにあたりデジタル化が進んだきっかけになつた。経済対策においても様々な方との連携があり、コロナ禍を経る中でも、事業を順調に進められた。引き続き市民の皆さんとの対話を積極的に進め、人と人との

画や地球温暖化対策計画について、「ゼロカーボンシティ宣言の自治体として、原発や化石燃料に頼るのではなく、具体的な削減施策に向けたイニシアチブを發揮すべき。市長の認識を問う。

答 持続可能な財政運営を行なうには、事業のスクランプ＆ビルトの徹底による歳出の削減、受益者負担の適正化など歳入確保に取り組む。

A simple line drawing of a woman with short brown hair, wearing a green long-sleeved shirt. She is shown from the chest up, looking slightly to her right with a thoughtful expression, her right hand resting against her chin.

# 文教福祉常任委員会

付託議案

議案 第9号・第10号  
第11号・第12号  
請願 第1号・第2号

## 主な質疑内容

### ●議案第9号 京田辺市子ども・子育て会議設置条例の一部改正について

京田辺市こども計画の策定に伴い、子ども・子育て会議の設置に係る根拠規定及び所掌事項の整理を行うとともに、委員の人数の見直しを行うため、提案するもの

問 委員の人数を増やす理由や市民公募の基準について。

答 若者の参画を考えてのものであり、公募基準に年齢制限の上限を入れることは有効と考えられる。

### ●議案第10号 京田辺市子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部改正について

子ども・子育て支援法が改正され、妊娠のための支援給付が創設されることに伴い、所要の改正を行うため、提案するもの

問 過去に過料を科した事例の有無について。また、過料を条例に規定する理由について。

答 過料を科した事例はない。条例に規定することによる抑止効果もある。

### ●請願第1号 京田辺市民が通える公立夜間中学校の創設並びに条件整備を求める請願

質疑の中で市は、府教育委員会へ協議会の設置を働きかけている。府として広域的な対応が必要であり、そのうえで、どこに設置することが良いか、などが考えられていくものとの答弁。

### ●請願第2号 京田辺市の学校給食の無償化を求める請願

小学校は令和8年度から、中学も早ければ令和9年中にも無償化されるとの報道もあるなかで、給食無償化ではなく別の負担軽減を検討する必要があるのではとの質疑に対し、給食費無償化の制度設計の準備を進め、市の負担が明らかになれば、他の負担も含めて対応を検討していくとの答弁。

## 委員会での審査結果

議案第10号は賛成多数で、その他の議案は賛成全員で可決すべきものと決定  
請願第1号及び第2号はどちらも賛成少数で不採択すべきものと決定



## ●所管事務調査

「特別支援教育について」の調査報告書は京田辺市議会ホームページに掲載しています。

# 建設経済常任委員会

付託議案

議案 第17号・第18号  
第33号

## 主な質疑内容

### ●議案第17号 枚方京田辺環境施設組合の共同処理する事務及び同組合規約の変更について

枚方京田辺環境施設組合の共同処理する事務及び同組合規約を変更することに関し、枚方市と協議したいので提案するもの

問 両市で運営費用を負担する同組合が運営する新焼却場と、枚方市が全額費用を負担する東部清掃工場について、どのように費用を区分するのか。

答 現在そのことについて協議を行っており、秋の試運転までには協議を終えたい。

### ●議案第18号 京田辺市道路線の認定について

宅地開発によって新設された道路について、道路法の規定に基づき路線の認定を行うため、提案するもの

問 行き止まり道路が生じる開発行為に対する開発指導はされているのか。

答 市として指導はしているが、開発基準に合致し、許可されている。

## 委員会での審査結果

議案第17号・第18号は賛成多数で、議案第33号は賛成全員で可決すべきものと決定



# 常任委員会の審議内容



## 定例会

常任委員会は定例会において付託された議案等を審議・審査します。

本市議会には、総務常任委員会・文教福祉常任委員会・建設経済常任委員会があります。

## 主な内容

その主な内容について、お知らせします。

※各委員長から提出された要約原稿を掲載しています。

## LIVE 会議の様子を中継しています

京田辺市議会では会議の様子をインターネットで中継しています！  
録画配信も行っています。

京田辺市 議会中継



スマートフォンでも  
視聴できますよ！



# 建設経済常任委員会

付託議案

議案 第17号・第18号  
第33号

## 主な質疑内容

### ●議案第17号 枚方京田辺環境施設組合の共同処理する事務及び同組合規約の変更について

枚方京田辺環境施設組合の共同処理する事務及び同組合規約を変更することに関し、枚方市と協議したいので提案するもの

問 両市で運営費用を負担する同組合が運営する新焼却場と、枚方市が全額費用を負担する東部清掃工場について、どのように費用を区分するのか。

答 現在そのことについて協議を行っており、秋の試運転までには協議を終えたい。

### ●議案第18号 京田辺市道路線の認定について

宅地開発によって新設された道路について、道路法の規定に基づき路線の認定を行うため、提案するもの

問 行き止まり道路が生じる開発行為に対する開発指導はされているのか。

答 市として指導はしているが、開発基準に合致し、許可されている。

## 委員会での審査結果

議案第17号・第18号は賛成多数で、議案第33号は賛成全員で可決すべきものと決定

# 総務常任委員会

付託議案

議案 第1号～第8号  
第13号～第16号  
第19号

## 主な質疑内容

### ●議案第1号 京田辺市ふるさと応援基金条例の制定について

本市を応援する方々からの寄附金を受けるための基金を設置し、魅力あるまちづくりに資する事業及び地域再生法に規定するまち・ひと・しごと創生寄附活用事業を実施することを目的として条例を制定するため、提案するもの

問 ふるさと納税の実績と、充当先の考え方。

答 令和6年度は約4億円の寄付があった。寄付者の意向があるものは当該事業へ充当する。その他については重点事業等へ活用し、年度をまたがった活用も考えている。

### ●議案第4号 京田辺市職員の旅費に関する条例の全部改正について

国家公務員等における旅費制度の見直しに伴い、本市職員等についても経済社会情勢の変化に対応するとともに事務負担を軽減するにあたり、所要の改正を行うため、提案するもの

問 旅費規程改正の考え方、改正に伴う市の財政負担見込。

答 国の制度設計に準じた形で制定した。財政負担は年間約30万円と見込んでいる。

### ●議案第16号 京田辺市野外活動施設設置条例の廃止について

京田辺市野外活動センターの運営見直しに伴い、令和7年4月から当施設を普通財産として、民間事業者に貸付けるため、本条例の廃止を提案するもの

問 野外活動センターの廃止に伴い、令和7年4月1日より民間貸し付けとなるが、職員等の雇用や、自然との関わりを育む取り組みの考え方。

答 現行の会計任用職員や実施している事業などについて、引き継いでいくよう事業者と協議を進めている。

## 委員会での審査結果

議案第13号及び第16号は賛成多数で、その他の議案は賛成全員で可決すべきものと決定





# 令和7年度の予算審査

## 予算特別委員会の開会



予算特別委員会（田原延行委員長、向川弘副委員長、有田幸平、岡本亮一、片岡勉、菊川和滋、国重昂平、南部登志子の計8名）は、3月12日、13日、17日、21日の4日間にかけて委員会を開催し、付託された令和7年度一般会計予算案を含め13件の予算案について審査を行いました。最終的には、会派による総括審査を行った後採決が行われ、予算案を全て認定、可決すべきものと決しました。審査を踏ました会派別の意見は10、11ページに掲載しています。主な審査内容は下欄に記載しています。また、二次元コードから動画で会議の様子を見ることができます。

## 部局別審査

※委員長から提出された主な審査内容を掲載しています。

### 総務分野



避難所の環境改善、また防災備蓄品の内容、配備先は。



自動ラップ式トイレや蓄電池などの備品や段ボールベッドなど。現在、備蓄品は基本的には三山木の防災倉庫と各避難所に保管している。今後も増えてきた備蓄品を整理しながら配備する。



ふるさと納税のさらなる納税促進策は、また他市への流出額や事務経費は。



新たな返礼品の開拓やシティプロモーションによりPRする。令和5年の流出額は約3億円、事務の経費は納税額の1/2以内となる。

### 文教福祉分野



小・中学校体育館の空調工事における有事の際のリスクヘッジとしての動力源は。



防災の観点で田辺東小と三山木小の2校にLPガス動力の空調を導入予定。



業務委託の松井ヶ丘留守家庭児童会の評価と運用状況の確認方法は。



業者独自のプログラムで開所時間の延長等を評価し、運用状況は月次の報告会で確認する。

### 建設経済分野



路線バスの現状とそれに対する事業者支援の内容は。



コロナ禍後の利用率は以前の9割程度で、厳しい経営状況が続くなか、本市は路線維持のため負担金を支出するとともに、利用促進策として路線バス無料の日を実施している。



甘南備山展望施設等新設工事の完成後のPR方法やアクセス道路の整備状況は。



H PやS N S、広報誌だけでなく、平安京との関わりなど文化・歴史分野や、学校等の学習利用も進めていきたい。アクセス道路は令和8年から10年度にかけて整備を進める。

特別栽培米（7ページ）  
農林水産省のガイドラインに基づき化学肥料や農薬の使

部活動の地域移行（6ページ）  
教員業務の負担軽減や少子化で人数が減った部活動に活動の場を提供するなどのため、学校が主体となっていた部活動を地域が主体となって運営する形態に移行すること

用量を減らして栽培された米  
地域ICTプラットフォーム（8ページ）  
地域における情報連携を可能にする仕組みやサービスで、平常時は地域の電子回覧板や情報受発信ツールとして利用でき、災害時には安否確認システムとしても活用できるものなどがある



## 用語の解説

早川由紀夫議員 日本維新・南部  
まちをきれいにする取り組みを

ごみのポイ捨てや路上喫煙の防止啓発を強化し、廃棄物等の管理や不法投棄対策を徹底すべき。花いっぱいのまちづくりも推進されたい。

窓 ポイ捨てや不法投棄禁止の看板設置・配布、市民一斉清掃の呼びかけ、環境パトロールを行っている。受動喫煙防止啓発や喫煙防止教育、美化・緑化活動に努めたい。

窓 学校・保育所等の建物設備の安全点検・管理保全の徹底ほか、学校等の防犯防災対策、非常時の安全教育や備えを行うべき。保護者との連絡・即応体制も講じるべき。

窓 安心・安全対策は、要領やマニュアルによる施設設備の点検、非常時の安全確保や教育訓練等で備えている。建物の健全性調査の実施や安

間 市長は市民の安全第一を考えるべき。調布や岐阜で太深度工法の問題が出ており止める勇気も持つべきだ。伝え判断は国がするべきだ。市長 国、機構にも懸念を作り距離、予算面で抑えられている。

間 枚方市が京田辺市の水源地近くに今も埋め放しにしている汚泥からヒ素、硫化水素、カドミウムなどが排出がある。P F A Sについても調査するべきだ。

窓 19年前の枚方の安全宣言以来、毎年本市で検査するが異常値は出でていない。窓 専門家に聞いていく。

間 上流部の工場も含め調査せよ。窓 地方創生の充実・強化に向けた取り組みを進め、その上で定住人口の維持・拡大を図りたい。特に子育て環境のさらなる充実、交通の利便性と豊かな自然環境を生かし地域経済の活性化や企業立地の促進による雇用創出など様々な魅力を市内外に効果的に発信し、イメージを高めまちへの愛着など魅力あるまちづくりを推進する。

間 高校生、大学生が市内企業に就職を促す取り組みは、様々な魅力をつくることにより、学校をつくることにより、郷土愛を育んでいきたい。

間 「わたしたちのまち京田辺」を活用して京田辺市の歴史や地域のために活躍した方の業績など学習している。よりよい学校をつくることにより、

間 人口減少が予測される中、定住人口の維持・拡大に向けた取り組みは。市長 地方創生の充実・強化に向けた取り組みを進め、その上で定住人口の維持・拡大を図りたい。特に子育て環境のさらなる充実、交通の利便性と豊かな自然環境を生かし地域経済の活性化や企業立地の促進による雇用創出など様々な魅力を市内外に効果的に発信し、イメージを高めまちへの愛着など魅力あるまちづくりを推進する。

間 高校生、大学生が市内企業に就職を促す取り組みは、様々な魅力をつくることにより、学校をつくることにより、郷土愛を育んでいきたい。

間 「わたしたちのまち京田辺」を活用して京田辺市の歴史や地域のために活躍した方の業績など学習している。よりよい学校をつくることにより、学校で郷土愛を取り入れた授業などの実施は。窓 社会科の授業で副読本「わたしたちのまち京田辺」を活用して京田辺市の歴史や地域のために活躍した方の業績など学習している。よりよい学校をつくることにより、郷土愛を育んでいきたい。

間 人口減少が予測される中、定住人口の維持・拡大に向けた取り組みは。市長 地方創生の充実・強化に向けた取り組みを進め、その上で定住人口の維持・拡大を図りたい。特に子育て環境のさらなる充実、交通の利便性と豊かな自然環境を生かし地域経済の活性化や企業立地の促進による雇用創出など様々な魅力を市内外に効果的に発信し、イメージを高めまちへの愛着など魅力あるまちづくりを推進する。

## 議会報告会を開催しました

間 市長は市民の安全第一を考えるべき。調布や岐阜で太深度工法の問題が出ており止める勇気も持つべきだ。伝え判断は国がするべきだ。市長 国、機構にも懸念を作り距離、予算面で抑えられている。

間 枚方市が京田辺市の水源地近くに今も埋め放しにしている汚泥からヒ素、硫化水素、カドミウムなどが排出がある。P F A Sについても調査するべきだ。

間 19年前の枚方の安全宣言以来、毎年本市で検査するが異常値は出でていない。窓 専門家に聞いていく。

間 上流部の工場も含め調査せよ。窓 地方創生の充実・強化に向けた取り組みを進め、その上で定住人口の維持・拡大を図りたい。

間 「わたしたちのまち京田辺」を活用して京田辺市の歴史や地域のために活躍した方の業績など学習している。よりよい学校をつくることにより、学校で郷土愛を取り入れた授業などの実施は。

間 「わたしたちのまち京田辺」を活用して京田辺市の歴史や地域のために活躍した方の業績など学習している。よりよい学校をつくることにより、学校で郷土愛を取り入れた授業などの実施は。

間 「わたしたちのまち京田辺」を活用して京田辺市の歴史や地域のために活躍した方の業績など学習している。よりよい学校をつくることにより、学校で郷土愛を取り入れた授業などの実施は。

間 「わたしたちのまち京田辺」を活用して京田辺市の歴史や地域のために活躍した方の業績など学習している。よりよい学校をつくることにより、学校で郷土愛を取り入れた授業などの実施は。

# 総括審査 会派からの意見

## 日本維新の会・無所属南部の会

Check!

### 職員確保・市民との対話を

近年の物価や人件費の高騰、労働人口の減少といった厳しい状況の中において、今予算には様々な新規事業があり、市民に対する行政サービスの更なる向上を目指した予算編成が伺える。その上で重要な職員の人材確保や育成、キャリアアップ事業の推進拡充をすべき。

何でも無料の子育て支援ではなく、芸術や美術、音楽鑑賞など教養を高めるための支援を。農業を守る・育成する。そのためには市民の意識向上も必要。

イノシシ被害に悩む普賢寺地域や、買い物に困っている新田辺駅東側などの住民は、取り残されていると感じている。職員は積極的に地域に出て行き、市民と対話を。



## 日本共産党京田辺市議会議員団

Check!

### 物価高から暮らしを守る市政を

物価の高騰により、市民の暮らしはかつてない深刻な事態となっている。

また、エネルギーや原材料費の高騰が長期に及ぶ中、中小企業の経営はコロナ禍以上に厳しくなっている。

いまこそ国保税や水道料金の引下げ、中小企業への直接支援が求められる。

一方、市の財政が厳しいとしながら、財政負担が不透明な北陸新幹線延伸計画を推進している。

巨額の資金を要し、大きな環境負荷をかける北陸新幹線延伸よりも、老朽化した既存インフラの整備や、市民にとって最も身近な公共バス、在来線の充実など、生活に密着した暮らし最優先の市政を求める。

## 公明党

Check!

### 物価高騰に対し全市民へ支援を

厳しい財政の中、小・中学校体育館等空調設置、田辺北新市街地整備、マイボトル普及啓発や防災・減災に係るハード・ソフト両面での充実をはじめ、帯状疱疹予防接種事業、5歳児健診などの公明党が要望した事業が盛り込まれた予算編成を評価する。

その上で、物価高騰に直面している全ての市民に行きわたる支援をすべき。国の補正予算の交付があった場合に、すぐに実行できるよう今から検討せよ。

また、留守家庭児童会の待機解消に加え、進学・就職・奨学金返還支援・若者・居住・結婚支援の充実、避難所の環境改善・避難訓練の充実および、観光と環境施策を拡充すべき。

## 自民一新会

Check!

### 職員一丸となったまちづくりを

本年は、「第4次総合計画中期まちづくりプラン」の2年目として成長都市京田辺を盤石なものとするために、すべての市民が住んでよかったと思える施策の展開が重要な年である。

今般の当初予算には、田辺北新市街地整備事業などの本市発展にとって必要な継続の大型事業に加え、小中学校体育館等への空調設備導入や現在の物価高騰に対する支援などの会派の方針に沿った数多くの事業により過去最高額の予算規模を計上されており高く評価している。

市長におかれでは職員一丸となって、組織力をより一層強化し、迅速かつ適切な予算執行が行われるよう強く要望する。

## NEXT京田辺

Check!

### 市民参加のまちづくりへ

令和7年度予算は、継続事業を着実に推進し、子育て・学校教育・福祉・防災分野を中心とした新規事業を積極的に展開する意欲的な予算編成である。

予算配分は、市民生活を支える事業と、未来に向けた事業をバランスよく両立させており、高く評価する。

今後は、特に福祉や防災分野で市民との協働や市民参画がさらに重要になる。区・自治会の活性化を図り、市との連携をさらに強化することも求められる。地域に対してこれまで以上に踏み込んだ支援を行い、引き続き安心安全で、市民が住み続けたいと思える魅力的なまちを実現すべく、市民と一緒にまちづくりの推進に期待する。

## 審議の結果を報告します



## 賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、個々の賛否について掲載（賛成：○ 反対：× 不賛成：△ 附帯決議：△）

質問が分かれた議案のうち、個々の質問について採決に参加しなかつた場合 “▼” で表しています。

※河本隆志議員は議長職のため、表決権はありません。

議案番号等	議決結果	自民一新会					NEXT京田辺			日本維新の会・無所属南部の会				日本共産党京田辺市議会議員団			公明党		無会派		
		榎本昂輔	国重昂平	久保典彦	田原延行	橋本善之	片岡 勉	河本隆志	菊川和滋	長田和也	有田 幸平	上田 毅	南部登志子	早川由紀夫	青木綱次郎	岡本亮一	増富理津子	河田 美穂	向川 弘	次田典子	吉高裕佳子
議 10	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議 13	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議 16	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議 17	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×	×
議 18	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議 23	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
議 24	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議 27	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議 28	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議 29	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○
議 30	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議 31	可決	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○
請 1	不採択	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
請 2	不採択	×	×	×	×	×	×		×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×
意 1	否決	×	×	×	×	×	×		×	×	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○

来期の予定：□臨時会開会閉会共：5月12日

■定例会開会:6月6日 ■一般質問:6月16、17、18日 ■定例会閉会:7月4日

■常任委員会（総務：6月23日、文教福祉：6月24日、建設経済：6月20日）

■議会運営委員会：5月30日、6月4、30日、7月2日　日程は変更になる場合があります。